

### 3. 滋賀の林業成長産業化への貢献について

#### 1) 県の計画等

##### (1) 琵琶湖森林づくり基本計画

- 令和2年度までの基本施策として、次の4つの柱を設定。
  - ① 環境に配慮した森林づくりの推進
  - ② 県民の協働による森林づくりの推進
  - ③ 森林資源の循環利用の促進
  - ④ 次代の森林を支える人づくりの推進
- 「①環境に配慮した森林づくりの推進」において、「長伐期林や複層林などの多様な樹種や齢級で構成された森林への誘導」や「低コスト造林技術を活用した再生林の取組等（採算の取れる範囲）や確実な天然更新（奥地）に向けた取組の支援による森林の適正な更新」を掲げている。

##### (2) しがの林業成長産業化アクションプラン

- 目指す姿を「山を活かし、水源を育み、地域を元気にするしがの林業・木材産業」として、この実現に向けた取組を推進。
- 林業・木材産業の振興に向けた取組において、「県営（有）林や造林公社等において、素材生産における生産性向上のための技術について実証研究を行い、他の民有林への技術の普及に努める」こととしている。

#### 2) 公社林に期待される林業成長産業化への貢献

##### 県産材の供給への貢献

- 県産材の安定供給によって、地域の木材産業や木造建築の振興に貢献する。
- 公共建築物をはじめとする地域の木材需要に応える。

##### 山村振興への貢献

- 伐採事業等を通じて、地域の雇用や林業事業体の経営の安定化に貢献する。
- 土地所有者の林業や森林への意識を高める。
- 公社が有する境界情報等の活用によって、民有林の適正な森林管理に貢献する。

##### 技術力向上への貢献

- 事業を通じて、林業や木材業に関する専門的知識を持った人材の育成に貢献する。
- 非皆伐施業による奥地人工林のモデルとなるよう取組を続ける。